

大学生考案の食 一堂に

きょうから長岡

地元素材で菓子など

大学が生み出したユニークな食品を展示・販売するイベント「大学は美味しい!!」が12、14日に長岡市のアオーレ長岡で開かれる。2008年から同様のイベントが東京で開かれており、地方での開催は初めて。大学生らは「地元素材をふんだんに使った食を楽しんでほしい」と来場を呼びかけている。

東京でのイベントは今年5、6月に新宿高島屋で開かれ、全国34大学の約330品が出品された。レンコンの食感を楽しめるチーズケーキや、ユズを生地に練り込んだベークルなど、学生の発想と行動力を前面に出した商品が並び、人気イベントとなっている。

新潟大会はNPO法人「プロジェクト88」（事務局・長岡市）が企画。農業の現場を見ようと新潟に何度も夜行バスで通ったという東京家政大4年の高橋菜里さんが理事長を務める。今回は、県内を中心に10の大学と短大、高専が即売や展示を行う。

新潟医療福祉大（新潟市



本番に向けて準備を進める学生ら
（新潟市北区の新潟医療福祉大で）

北区）は、キャンパス近くの耕作放棄地で、地元農業委員会と協力して栽培、収穫したサツマイモを使っ

たスイーツを出品する。地元のケーキ店も製作に協力し、「おいちくたると」（200円）と名付けた。サツマイモの角切りとクリームが異なった食感が絶妙で、3年の鈴木彩加さんは「愛着あるサツマイモの魅力を伝えたい」と強調する。

ほかにも、棚田で育てた米の米粉で作った長岡大の「雪ん粉クッキー」（500円）や新潟薬科大の「かきのもと香る 紅茶シフォンケーキ」（880円）などが出品される。

高橋さんは「耕作放棄地や過疎化など地域の問題に真剣に取り組んできた学生による味をぜひ楽しんでほしい」としている。

12日は一部の大学のみ出品する。問い合わせはNPO法人「プロジェクト88」（0258・66・8184）。